

2015年度ワングル谷川岳・松之山 ～色づき初めの谷川岳を散策～

記録 行田 眞勝

期日 2015年10月3日(土)～4日(日) 1泊2日

天候 10/3 晴れ 10/4 小雨後曇り

参加者

小磯義昭、樋口成男、高橋龍己、早川充、藤野昇、宍倉弘、野極政男
山下和正、木村 秩、行田眞勝、早川聡子、樋口ゆき子、大知洋子
小磯とく子、倉持良子、鈴木咲子、高橋幸代、木村いよ子

行程

10月3日 板東バニマル ～ 境古河IC ～ 佐野SA ～ 岩舟JCT ～ 高崎JCT ～ 赤城高原SA ～
8:00 9:00 9:15 9:55 10:18 10:27
水上IC ～ 谷川岳ドライブイン(土合駅隣) ～ 谷川ロプウエイ山麓 ～ ロプウエイ山頂 ～ 天神峠
10:45 11:00 11:52 11:56 12:10 12:22
～(天神尾根)～ 天神峠 ～ ロプウエイ山頂 ～ ロプウエイ山麓 ～ 水上IC ～ (塩沢石打IC)～ 松之山
15:14 15:46 15:59 16:24 17:41
10月4日 松之山 ～ 清津峡 ～ 八海山ロプウエイ ～ 八海神社(八海会館) ～ 魚沼の里(八海山雪室)
9:10 9:51 10:57 11:53 13:21 13:28 14:22 14:37 15:20
～ (途中湯沢IC近く土産店)～ 高崎JCT ～ 波志江PA ～ 岩舟JCT ～ 境古河IC ～ 板東バニマル
17:15 17:23 17:33 19:30

記録

10月3日

今回、当初参加予定の大島さん、佐久間さん夫妻、梶原さん夫妻が不参加となり18名で出発する。守谷を起点にヨクタウン板東を8:00に出発、途中長須で倉持さん、鈴木さんが待合せて全員が揃い、久しぶりの再会となる。開通したばかりの境古河ICから圏央道に入り、久喜JCTから東北道、岩舟JCTより北関東自動車道を経て関越高速に入るルートで向かう。バスなので通常なら酒盛りが始まるところだが、谷川岳天神尾根のトレッキングが予定されているので、年を重ね足腰も衰えてくる年代のメンバー、若いつもりでも飲みすぎでふらつき怪我でもしたら大変なので禁酒令が出される。関越高速からはスッキリした青空のなか上州の峰々がハッキリと眺められる。今日は絶好の登山日和のようだ。

水上ICで高速を降り、15分程の11:00谷川岳登山のベース駅、土合駅の近くにある谷川岳ドライブインに着き、ここで昼食とする。各自思い思いに注文をして食す。我々の席の後ろには団体客用の松茸料理コースのお膳がテーブルに並んでいた。50分程で昼食も終わり、建物の外に出ると、建物の裏から青空のなか白毛門の峰がはっきりと見えていた。11:53に出発し目的地の谷川岳ロプウエイ山麓駅には5分程で到着した。ロプウエイは空いており、待つこともなくすぐに乗車できたが、団結力の良さが1基に18名全員が乗ってしまった。山頂駅までは10分程だが、紅葉が始まった木々や谷川岳本峰が、青空のなか映えていた。

山頂駅の天神平には12:22に到着、ここから天神峠までペアリフトでさらに上がった。天神峠からは谷川岳本峰・武尊山・至仏山・平ヶ岳、白毛門等飽きない位の大展望だ。天神峠からは時間をみながらのトレッキングとなる。取りあえずは熊穴沢避難小屋までの往復として出発、正面に谷川岳本峰を眺ながら進む。グルーブの優秀なカメラマン達が女子会のメンバーをモデルにしながら所々で撮影会をしていたので、ゆっくりしたペースで足場を気にしながら歩いていく。途中、ヘリコプターが谷川岳本峰を旋回していたが、どうやら行方不明者を捜索しているようであった。避難小屋までとしていたが、時間がかかりそうなので途中の登山道でコヒブレイクとする。背負ってきたガスコンロ・コッフェルと水で湯を沸かし紙コップでコヒやお茶を配給する。山で飲むコヒは格別だのんびり休んだ後、ここから天神峠に引き返すこととする。

引き返す途中に何度も振り返っては谷川岳本峰の雄姿を眺めるが、流石に山頂付近は雲がかかってきた。それでも最後まで良い眺めで絶好のトレッキング日和で同じ登山道を天神峠まで戻り、リフトで天神平へ下る。

天神平にはリンドウの花が咲いており、皆カメラを構えて写真撮影、全員の集合写真も撮る。ロプウエイ山麓駅には15:46、予定より1時間程遅くなる。

ロプウエイ山麓駅から水上ICに戻り、関越高速で塩沢石打ICへ、そこからR353経由で行き松之山凌雲閣には暗くなる直前の17:41に到着した。

到着後は、あらかじめ割り振られた部屋へ入り、夕食の19:00迄の間のんびりと温泉に浸かり、トレッキングの汗を流す。19:00より早川さんの音頭で、久しぶりの再会を祝い乾杯した。女将さんも久しぶりに再会し1人ひとり挨拶されていた。夕食後は「あやめの間」で二次会を催し女将さんから沢山の差し入れをしていただいた。二次会の途中で野極さんが編集してくれた懐かしいビデオを上映して話も盛り上がる。ただ本人の野極さんは部屋でダウンしていたようでした。



10月4日

早朝、外は小雨が降っていたが何とか行動に支障はなさそうである。
8:00から朝食をいただき、食後にコ-ヒ-を飲みのんびりした後、各自出発準備本館玄関前で記念撮影をしてから9:10に凌雲閣を出発する。
今日も清津峡、八海山口-プウェイ、八海酒造(魚沼の里)と盛り沢山である。
R353を戻る途中に清津峡がある。凌雲閣から40分の9:51に着いたが、小雨が降っており、各自傘や雨具を身に付けて行動するが、今回の見学はトンネルの中からのので、入坑後は雨具が不要となる。トンネルの中を進むと3か所の見晴所と奥のパノラマステ-ションがあり大渓谷を満喫、各自渓谷美の写真を撮る。渓谷美と同時に女子会のメンバ-の記念撮影会も行う。清津峡の雄大な景観美を形成している柱状の岩は「柱状節理」といい、岩体冷却の際に体積収縮により冷却面に垂直に六角柱状の節理(規則的な割れ目)が生じたものとちょっと難しいがそういうことらしい。約1時間程散策して10:57に次の目的地八海山口-プウェイに向かって出発する。塩沢石打ICから高速に入り、六日町ICで降りて八海山口-プウェイには約1時間の11:53に到着、天候があまりスッキリしないのと紅葉にはまだ早いのか駐車場は空いていた。山麓駅から往復の切符を購入し20分間隔に出口-プウェイを12:20に出発、生憎の空模様で展望は期待できないが空中散歩を楽しむ。ロ-プウェイの中に紅葉の最盛期の写真があったが、それは見事であり色鮮やかな紅葉が楽しめるようだ。標高差771mを7分位で山頂駅1147mに到着したが、やはりがすっていて眺望はきかなかった。山頂駅からは、とりあえず展望台に行こうと木の階段を登っていくと5分位で到着、展望台からは時折ガスが晴れて日本海が見えたとか。展望台から少し歩くと八海山大神、木花咲耶姫命と記された中心に神の像があった。この辺りは標高1165mということで、看板に「良い老後祈願」と記されていた。その前で記念写真を撮り祈願する。
展望台で40分程のんびりして13:00発のロ-プウェイで山麓へと下る。山麓駅からは昼食のため、凌雲閣の女将さんに紹介していただいた八海山神社にある「八海会館」に5分位で着き、蕎麦をいただく。手打ち蕎麦と天ぷらのセットに饅頭がついていたが、とても美味しかった。ここで1時間程休憩後、14:22次の目的地「魚沼の里」へ向かう。魚沼の里で八海酒造の見学を予定していた。魚沼の里には14:37に到着、早速見学の時間を調べたが、ちょうど良い時間がなく見学はあきらめたが、中でいろいろな酒の試飲ができるということで酒好きのメンバ-は自分の好みを試飲していた。試飲後は土産を選び、予定より早い15:20に出る。ここからは帰路ということだが、どうしても新潟の土産を買いたいというリクエストに応え、湯沢IC近くの土産店に立ち寄った後、坂東へと向かう。ヨ-クタウン坂東までは残った酒やつまみをいただく。ヨ-クタウン坂東には19:30に到着した。今回は1日目好天に恵まれた谷川岳を満喫し、久しぶりの松之山、2日目も清津峡、八海山口-プウェイ、八海会館の蕎麦、魚沼の里での試飲等、盛り沢山でした。幹事さんありがとうございました。皆様お疲れさまでした。

